

かなみおでかけサポートのしくみ (月～金運行/1台で運行中：2023年4月時点)

活動概要

高齢者等の居場所への参加を移動の面でサポートすることで、地域での自立した暮らしの継続を目的とした住民による会員制・有償の支えあい活動

ボランティアの役割

運転ボラ：車両の運転担当
同乗ボラ：

バックの際の安全確認
利用会員の対応等
(踏み台設置・荷物持ち等)

【共通】居場所での参加支援
→謝礼200円/回は↑に対するもの

社協(運営主体)の役割

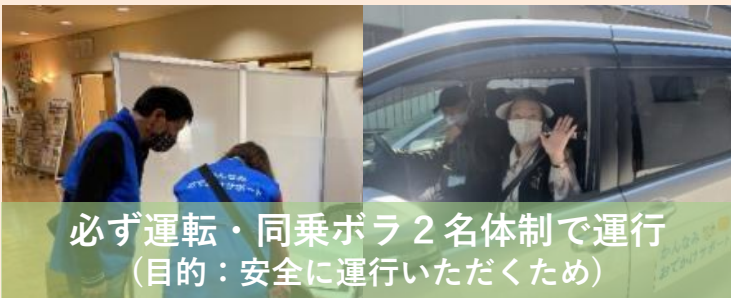
会員登録、運行調整(送迎時間調整、ボラ活動シフト作成等)
ボラ養成、フォローアップ研修
ボラ連絡会の開催等

運営費

町総合事業による補助金
共同募金配分金
県社協助成金等を活用

①社協職員との情報共有・点検や消毒後の出発

使用する車両:社協車両



必ず運転・同乗ボラ2名体制で運行
(目的:安全に運行いただくため)

*町総合事業補助対象(自宅⇄居場所)

②利用会員の乗車場所をまわる移動に対する料金は無料

(行)
(帰)



③居場所に参加!

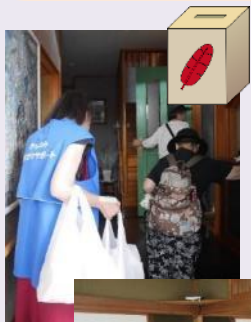
各曜日ごと利用会員を居場所(2ヶ所)へ送迎
居場所では、体操をしたりお茶をのんだり…
自分のしたいことを選択する

選択肢のひとつ

買い物に行こう!

毎日の食料雑貨の買い物にお困りの方向けに運行調整

希望者は居場所からスーパーへ
お買い物後は、再度居場所へ戻り合流



行きたくなってしまうから、小さな配慮の積み重ね



①社協職員との情報共有・点検や消毒後の出発

の、前に

必要な方へ、 毎回の電話連絡

- ・外出予定のお知らせ
- ・支度の促し

ポジティブな経験の例

- ・外出に向けて余裕をもって支度ができる
- ・「待たせてごめんなさい」という気持ちを持たずに済む
- ・1週間の生活リズムが整う



②利用会員の乗車場所をまわる

その時に

外出時に手荷物・ 服装の様子を さりげなく確認

- ・「カギがない！」等慌ててしまう際にお声がけ

- ・不安な気持ちを持たずに済む
- ・ご本人が安心して外出できることで、送り出すご家族も余裕が生まれる



居場所についてからの選択肢
買い物に行こう！

その時に

買い物希望の方に、 店舗での つかず離れずフォロー

- ・商品の場所のお知らせ
- ・時間管理など

- ・つかず離れず、必要に応じたフォローに徹することで、自由な買い物時間を楽しむことができる
- ・声掛けすることで時間を守れるため、他の方にも気兼ねせず済む

SC目線で見ると…運行編



利用会員の状態理解で見守りの意識醸成

外出しようという気持ちを引き出したい

必要な方へ、毎回の電話連絡

- ・外出予定のお知らせ
- ・支度の促し



ちょっとした変化に気づいて情報共有

落ち着いて参加できることでやる気を維持

外出時に手荷物・服装の様子をさりげなく確認

- ・「カギがない！」等慌ててしまう際にお声がけ



ボランティアさん自ら地域に向けて活動PR

外出時の声かけ一つで話しやすい雰囲気作り

買い物希望の方に、店舗でのつかず離れずフォロー

- ・商品の場所のお知らせ
- ・時間管理など

商品探して自然に交流

おしゃべりしながらカートを押して気付けば運動に

SC目線で見ると…移動支援の目的地編

会話の中から
相談に結び付く

相談の交通整理

会話の橋渡し

- ・ゆっくり話す
- ・要約して伝える

別主体運営の居場所

→訪問D

気になることは
専門職へ

社協運営の居場所

→通所B

体調等の確認

- ・バイタルチェック
- ・会話の中で

カフェ城山 (じょうやま)

自宅開放・毎週月～木/ 10:00～16:00

*参加費200円

またあしたカフェ

毎週月～土/ 10:00～15:00

*参加費無料 (共同募金の募金箱設置: 任意)

家ではない・
一人ではない、を

- ・久しぶりにギター演奏
- ・茶菓子を分けたい!

利用会員・ポラ
それぞれの意欲↑

| 関係者 | 役割 | どんな存在 |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
| 利用会員 | 居場所への参加 | 自分らしく暮らす様子を見せてくれる人 |
| 協力会員(ボラ) | 居場所への参加をつなぐ送迎役、居場所やスーパーでの見守り、ボラ活動シフト管理 | 最前線で利用会員の変化に気づく人 |
| 居場所運営者 | 自分たちを含めた地域住民、おでかけサポート会員も共に過ごせるよう配慮した居場所運営、必要に応じたバイタルチェック | 自分も楽しく過ごしたい、他の人にも居心地よく過ごしてほしい人 |
| SC | ボラ新規養成、フォローアップ研修、連絡会運営、居場所連絡会の開催、地域ケア個別・推進会議での事業周知、フォーラム開催 | 関係者をつなぐ、すそ野をひろげる、しかける |
| 社協(実施主体) | 利用・協力会員との面談、登録処理、居場所との調整、運営費の確保 | 利用会員～専門職～行政までをつなぐ全体調整、事務 |
| 包括・居宅 | 利用希望者をつなぐ、面談同行、ケアプラン共有、情報交換 | 利用会員を紹介してくれる、会員に何かあればその後の対応 |
| 行政 | 函南町介護予防・生活支援事業費補助金(居場所補助金)、函南町移動支援事業費補助金(訪問D)、函南町住民主体型介護予防・生活支援サービス事業費補助金(通所B) | SC、居場所・移動支援実施主体を支える |
| 地域住民 | 口コミを含めた周知 | 街中で声をかけてくれるいちばんの広告塔 |

ひとつで万能な仕組みはない。走りながら考えて動く。

✓ 社協:生活支援ボラ
居場所送迎 スタート



“目的・その活動でできること”
×
課題を抱えた個人、気づいた住民
「なんで〇〇はできないの？ やらないの？」



課題感のある住民が
動けるように関わる



自分たちが思う活動がしたい！
*生活援助等と一体型の送迎(訪問B)へ

✓ 見えてくる困りごと
盛りだくさんな想定外

ついでに車で
送ってくれて
頼まれる…



〇〇もやって
あげたいんだけど…

SC



地域での自立した
生活の継続

